

共生社会実現への体験機会創出事業

障がい者支援課

6年度当初予算案

8,886 千円（一財）

1 目的

障がい者共生条例を踏まえ、「障がいの社会モデル」の理念を普及し、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けた県民一人ひとりの行動変容を促す機会の創出や、多様性の価値について発信することを目的とする。

2 事業内容

(1) 障がい理解教育

- ・主にインクルーシブデザインワークショップ参加者の事前学習として障がい者がファシリテーターとなるワークショップ型の研修を実施し、対話を通じてより多くの気づきにつなげる。
- ・社会の中にある様々な「障がい」を見抜く力を獲得し、それらを解決するための行動につなげる。

(2) インクルーシブデザインワークショップ

- ・東北信、中南信の2エリアに分け、参加者を公募して、計2回ワークショップを実施
- ・障がいのあるリードユーザー（ファシリテーター）と共に街歩き等を経験し、今まで顕在化していなかった様々な社会的障壁を発見
- ・発見された課題についてグループワークを通じ、解決策を検討
- ・グループワークで提案された解決策が実行されるよう、メディアを有効に活用しながら事業者等に改善の働きかけを実施

(3) 障がいに関する広報・啓発

- ・共生社会の今を知ることがテーマにしたミニ番組の制作
- ・障がい者への声のかけ方の紹介動画制作
- ・インクルーシブデザインワークショップの様子を情報番組で放送
- ・啓発CMを放送

3 予算額（案）

8,886 千円（一財）

（単位：千円）

内容	予算額（案）
(1) 障がい理解教育	98
(2) インクルーシブデザインワークショップ	2,114
(3) 障がいに関する広報・啓発	6,674